

発売即、重版決定！ なぜワクチン接種後、1233 人ものが亡くなったの？
医師が本気で教えるコロナ禍の正体！

『コロナのウソとワクチンの真実 不安なあなたに知ってほしい私たちの未来』

(著者)近藤誠 和田秀樹

(価格)1,540 円 (税込) (発売日)2021 年 10 月 5 日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役:唐津隆)は、新刊書籍『コロナのウソとワクチンの真実
不安なあなたに知ってほしい私たちの未来』を 2021 年 10 月 5 日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介
いただけますと幸いです。

本書では、ワクチンは本当に有効なのか？ 3度目のブースト接種(追加接種)は打
つべきか？ 大切なコロナとワクチンの話から、日本人の健康観や病気への対処法
の問題点そして、「結局、コロナってなんだったの？」という疑問に、二人の医師、近
藤誠と和田秀樹が本気で答えていきます。「ワクチンを打たなかったらどうなる？」
「新薬って効果ある？」「正しい老後のあり方とは？」等々、ウィズコロナ時代の日本
人のための正しい医師、治療、クスリへの向き合い方、そして健康に生きるコツを、
近藤誠、和田秀樹の両氏が徹底討論であぶり出していく一冊です。

日本での新型コロナウイルスのパンデミック。その国を挙げての騒がれ方に当初か
ら疑いの目を向けていたガンとワクチンの第一人者、近藤誠氏と精神科医として引
っぱりだこの和田秀樹氏が、騒動以来1年半にわたるファクト、報道、学術論文を徹
底分析。ワクチンの欠陥性、ブレイクスルー感染、ブースター接種の真相、コロナで
儲けた医師や大学病院、医療村の実態など、コロナ、ワクチンの意外なウソ・ホントを分かりやすく解説します。ウィ
ズ、アフターでもぶれない真の健康を手に入れたい人にとって欠かせない1冊です。



【Dr.近藤's カルテ】

- ・メッセンジャーRNAのメカニズムと副作用死の不都合な真実
- ・ワクチンと副作用をめぐる厚労省の姑息な論理操作とは？
- ・ブレイクスルー感染、重症化と、深く関係する「メモリー免疫」の実態
- ・一度は必ずかかるのだから、患者よ、新型コロナとも闘うな！

【Dr.和田's カルテ】

- ・コロナ禍の裏でひそかに広がるアルコール依存症の恐怖
- ・子どもへのワクチン接種の責任を、小児科の医師たちは本当に取れるのか？
- ・新型コロナ対策をリードするのは、20年前に引退した評論家チーム
- ・「コロナなど恐れるな」ではなく、必要なのは「正しく恐れる」思考法
- ・自分がボケる前に知っておくべき、介護と福祉をめぐる真実と現実
- ・フレイルは「要介護まっしぐら」へのアラート

◆目次

- 第 1 章 ここまでわかった新型コロナとワクチンの正体
- 第 2 章 “コロナ騒ぎ”から本当に学ぶべき私たちの未来
- 第 3 章 コロナ禍で浮き彫りとなった日本の医療の決定的な問題点
- 第 4 章 コロナの先にある人生 100 年時代の正しい健康思考

著者： 近藤誠

1948 年、東京都生まれ。医師。「近藤誠がん研究所」所長。

73 年、慶應義塾大学医学部卒業後、同医学部放射線科に入局、79~80 年、米国へ留学。83 年から、同放射線科講師を務める。

96 年に刊行した『患者よ、がんと闘うな』(文藝春秋)で抗がん剤の副作用問題を初めて指摘し、医療の常識を変える。

2012 年、第 60 回菊池寛賞を受賞。13 年、東京・渋谷に「近藤誠がん研究所・セカンドオピニオン外来」を開設。14 年、慶應義塾大学を定年退職。ミリオンセラーとなった『医者に殺されない 47 の心得』(アスコム)ほか、『新型コロナとワクチンのひみつ』(ビジネス社)、『新型コロナワクチン 副作用が出る人、出ない人』(小学館)、『がんの逆襲』(エクスナレッジ)、『最高の死に方』(宝島社)、『やっちはいけない健康診断』(SB 新書、和田秀樹氏共著)など著書多数。

和田秀樹

1960 年、大阪府生まれ。東京大学医学部卒。精神科医。東京大学医学部附属病院精神神経科助手、

米国カール・メニングー精神医学学校国際フェロー、浴風会病院神経科医師を経て、現在、「和田秀樹こころと体のクリニック」院長、

国際医療福祉大学大学院教授、川崎幸病院精神科顧問。高齢者専門の精神科医として、30 年以上にわたって、高齢者医療の現場に携わっている。『コロナの副作用!』(ビジネス社)、『70 歳が老化の分かれ道』(詩想社)、『ストレスの 9 割は「脳の錯覚」』(青春出版社)、

『60 代から心と体がラクになる生き方』(朝日新聞出版)、『老後は要領』(幻冬舎)など著書多数。

【お問い合わせ先】 株式会社ビジネス社 広報担当:松矢 〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。